

三九	三十	三一
第一隊 五 二	第二隊 二 二 五	第三隊 三 二 二 二
部 隊		
右司	右司	右司
九月初十日 三。改訂 八。改訂		
增設 一。改訂		

二人員現狀
職官氏名

區分	職	主	務	官	氏	名	記	事
隊	司令	附	附	中尉	大尉	白石信治	十月十五日	大尉
同	同	同	同	同	同	伊藤辰英		
同	同	同	同	同	同	柳澤元俊		
同	同	同	同	同	同	高山重喜		
同	同	同	同	少尉	同	中平晴敏		
同	同	同	同	同	同	近藤皇和		
同	同	同	同	同	同	中原正雄		
同	同	同	同	同	同	武下		
同	同	同	同	同	同	小田猛		
同	同	同	同	同	同	小溪宜正		

計	第一艇隊	第二艇隊	第三艇隊	第四艇隊	八二五號艇	八二八號	八二九號
一〇一	三六	二三	五	四	四	四	四
一三六	三四	三三	四	四	四	四	四
七							
八							
一〇							
三〇八	五〇	四六	九	八	八		

(二) 下士官兵及其地員數

區分	基地隊	八三二號艇	八〇三	八〇九	八三三	八三五	八一七	八一	八二六	八二九
分兵科	四一	四	四	四	四	四	五	五	五	五
機附科	三七	五	四	四	四	四	四	四	四	四
工科	七									
看護科	八									
主計科	一〇									
其他	合									
計	一〇三	九	八	八	八	八	八	八	八	九

三令送報告等

發

元 日 月

二日二〇一五
第三七莫雷艇
隊司令

三日二〇二一
佐鎮司令長官

受

日 時
宛 通 報

五日〇七三五
中平中尉
佐世保所屬隊
司令
沖繩方面根據地隊
參謀

四日〇七三五
佐鎮部隊

令 達 報 告 等

第三七莫雷艇隊第〇二二〇一番電
增強隊指揮官八隊機長ト
協議の上回航方針ヲ定メ速ニ報
告スベシ

佐鎮機密第〇二二〇一番電
佐鎮電令作第五三三号

「トリア」方面移動部隊ハ出野西航
トシテ「トリア」トシテ支隊大軍近々本
美裝氣配裝學ナリ以下略

別 種

電 無

右 十日 一六三〇	右 同	右 十日 一六三〇	右 同	右 十日 一六三〇	右 同
油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官
被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没

右 十日 一八〇五	右 同	右 十日 一八〇五	右 同	右 十日 一八〇五	右 同
油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官	油鏡方面根拠隊 司令官
被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没	被善 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没 免留飛沈一三標的沈没 沈没

十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	第十一號艦隊司令官 海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇
十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇
十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇
十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇

十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	第十一號艦隊司令官 海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇
十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇
十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇
十一日 北〇〇〇	十一日 北〇〇〇	海軍大將吉田時雄 腹部受彈斃命	十一日 北〇〇〇

右 日 一〇三〇	同	左 日 一〇三〇	右 日 一〇三〇
左 日 一〇三〇	同	右 日 一〇三〇	左 日 一〇三〇
左 日 一〇三〇	同	右 日 一〇三〇	左 日 一〇三〇
左 日 一〇三〇	同	右 日 一〇三〇	左 日 一〇三〇

右 日 一〇三〇	同	左 日 一〇三〇	右 日 一〇三〇
左 日 一〇三〇	同	右 日 一〇三〇	左 日 一〇三〇
左 日 一〇三〇	同	右 日 一〇三〇	左 日 一〇三〇
左 日 一〇三〇	同	右 日 一〇三〇	左 日 一〇三〇

<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>
<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>
<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>

<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>
<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>
<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>	<p>十月十日 沖繩方面部長 佐藤長官</p>

右	十六日 一三四五	司令官 沖繩方面根拠地隊	十五日 一七四八 第1海上護衛隊司令官	十五日 〇九五〇 沖繩方面根拠地隊司令官
右	十六日 一三五六	沖繩方面部隊 第4海上護衛隊 (兼佐鎮米謀長)	十五日 一九三二 第4海上護衛隊 沖繩方面部隊 (佐鎮米謀長)	十五日 一三五〇 沖繩方面部隊 第4海上護衛隊 (佐鎮米謀長)
沖繩海軍地区空襲警報発令		信電令作第19号、 沖根機密第1六、九三。番電 信電令作第2号	信電令作第20号、 第4海上護衛隊第1五、一七四八番電 信電令作第19号、 警戒既備トナセ	沖根機密第1五、九五。番電 電令作第5号第2警戒既備引 法トナセ

第一夜攻撃に於て二隻被爆引火爲
 被爆船自今上之ノ攻撃第三夜攻
 撃ニ至リ火勢増大上下共ニ彈藥入込
 之燃烈ト銃爆虫及爆風添リテ
 十二隻喪失
 三并見
 山本戦斗ヨリ鑑ニテ海面艦隊誘引上
 層敵ヲ最良トシテ、衝突ヨリナク
 之船隊ヲ討テ駆逐スルニ、此体ヲ必要ト思
 考ス
 四被爆見後、自當留駐自今手段トシ
 テ八強力ト陸上砲火ニ、機雷ヲ添テ
 別被害極限ニ切ルニシテ必要ト認ム

十六日 一四一五	右同	十六日 一四二六	沖縄地区空襲警報解除
十六日 一三〇〇	右同	十六日 一五五九	沖縄機密第一六一四。番電 電令作第六号
十六日 一六二一	右同	十六日 二二〇五	商船機外左支隊大型機未 裝算及第一警備配備別注トナセ 沖縄機密第一六一九。番電 電令作第七号
十七日 一三四〇	右同	十七日 一四五五	信電令作第三号、省配備ト 其基地航空部隊ニ協力セヨ 沖縄機密第一七一〇。番電 電令作第八号
右同	右同	右同	第二警備配備別注トナセ

十七日 一七三二	右同	十七日 二〇〇〇	沖縄機密一七三二番電 第三警備配備トナセ 明十八日 〇五三。後第一警備配備別注トナセ
十八日 〇七三一	右同	十八日 〇九四〇	沖縄機密第一八〇七。三番電 電令作第九号
十八日 一七〇〇	右同	十八日 一九一〇	沖縄機密第一八二一。番電 第三警備配備トナセトナセ 十九日 〇五三。ヨリ第二警備配備 別注トナセ
右同	右同	右同	第二警備配備別注トナセ

十九日 一五〇二	十九日 一六四五	根機密第一九一五四番電 大島防備隊機密第一九一〇四七番 電作成督
右同	第十九日 二〇二三 津浦方面部隊 落口海上護衛隊	泉雷艇八一五、八二六、八三五號一。 。凝相発(自力一七。運天着)
一九日 一八五六	十九日 二〇二三	中根機密第一九一八五六番電 第三警戒隊配備トナレ二十日 。五三。ヨリ第二警戒隊配備 別法トナレ
右同		

十九日 一八五六	十九日 二〇二三	津浦方面部隊 落口海上護衛隊
十九日 一五〇二	十九日 一六四五	根機密第一九一五四番電 大島防備隊機密第一九一〇四七番 電作成督
十九日 一八五六	十九日 二〇二三	中根機密第一九一八五六番電 第三警戒隊配備トナレ二十日 。五三。ヨリ第二警戒隊配備 別法トナレ
十九日 一五〇二	十九日 一六四五	根機密第一九一五四番電 大島防備隊機密第一九一〇四七番 電作成督

<p>二十日 一八〇〇 沖繩方面部隊司令部</p>	<p>二十一日 〇七五〇 沖繩方面部隊司令部 第二海軍護衛隊 (佐鎮本部隊長)</p>	<p>沖繩隊司令部二〇八〇番電 一八〇〇ヨリ第三軍司令部配備三二〇三三 ヲ一第三軍司令部配備三二〇三三番分向 特令下道本軍鎮本部隊長ヨリ 沖繩隊司令部二〇二二番電 第二十七軍司令部機務隊司令部二二二番電 地内詳</p>
<p>二十日 一三三〇 龍崎方面部隊司令部 首席參謀</p>	<p>軍務局長 兵備局長 大務部一部長 (第三軍司令部機務隊司令部 首席參謀)</p>	<p>龍崎隊司令部二二二番電 第二十七軍司令部機務隊司令部二二二番電 地内詳 月隊諜度ハ現在相當高ク皇我 印應運機務隊司令部ヨリ其基地施 設ハ予定設備ヲ除キ本月未定成ハ 十卷尚西米島施設進捗中ナリ 兵備機務隊司令部ヨリ補充至急 実現ヲ得度</p>

<p>二十一日 一六〇〇 佐鎮司令部長官</p>	<p>二十二日 〇八一〇 佐鎮部隊</p>	<p>佐鎮隊司令部二二二番電 佐鎮信電令二二二番電 在支米兵二軍一〇九全カヲ撃ツ本日 明二二日本二台機ヲ以テ襲ハ合當 二方陸軍情報アリ比島方面戰況 一鐵三九州南西諸島方面日嚴 一自警警戒ヲ要ス</p>
<p>二十五日 二〇二八 第二十七軍司令部 司令</p>	<p>二十六日 〇八〇〇 沖繩方面部隊司令部 (大務部備隊司令部) 佐鎮本部</p>	<p>第二十七軍司令部二二二番電 一皇軍艦三隻一八〇〇運天島 一當基地現在皇軍艦十二隻 沖繩隊司令部二〇八三番電 沖繩方面部隊司令部第一三三</p>

第4海軍衛隊

第3警戒配備トモ組
一 警戒一隊 〇〇〇〇〇
二 警戒配備
三 略

四参考

一 空襲ニヨリ真雷艇被害極限ノ対策

(一) 真雷艇偽裝ハ引上隠蔽ヨ最良トシ接岸偽裝ニテハ船体

ニ対シ爆風ニ依ル被害ヲ極限スル爲堅固ナル掩体ヲ必要トス

(二) 被害見後、真雷艇自衛手段トシテハ強力ナル陸上砲火ニヨリ爆

撃ヲ索制被害極限ニ努ムルヲ必要トス

二 基地設営概要

(一) 九月二十六日ヨリ、ネーデル南対岸一五八高地附近一帯、断崖ヲ

利用真雷艇収蔵ノ目的トシテ接岸防線帯(長サ二八米

巾六米)一八箇所設置作業並ニ各防線帯・通ル道路

開設ニ着手十月二日完成各艇ヲ分散偽裝セリ

(二) 〇 数 七日 所要人員延一三四名

(三) 十月十日、空襲ニ依リ接岸偽裝ニテハ被害極限ニ得

ザレウ感シ小川ヲ利用引工隱ニ敵ヲ目的トシ十月十一日
着工十月三十一日ニ隻引上薩ニ敵筒并完成セリ

五 船作各邑城別等

一 船作

小 船作・船修

船作	船作部位	精 光前部	原 因	処 理
八〇九	船作部位	十月十日、戦中	爆風	未修理
八〇九	船作部位	十月十日、戦中	爆風	未修理
八〇九	船作部位	十月十日、戦中	爆風	未修理
八〇九	船作部位	十月十日、戦中	爆風	未修理

三兵船

小六要兵船・故障欠損及亡失

船名	船名	請	原	因	処	置
ノ一	海防 一 亡失	十月十日・戦中ヨリ	爆沈	三三	海中ニ投棄	
ノ二	海防 百 亡失	十月十日・戦中ヨリ	爆沈	三三	海中ニ投棄	
ノ三	海防 百 亡失	十月十日・戦中ヨリ	爆沈	三三	海中ニ投棄	
ノ四	海防 百 亡失	十月十日・戦中ヨリ	爆沈	三三	海中ニ投棄	

序号	名称	消耗量	补给量	记事(用印)
八一	二十五耗散銃彈	六〇〇發	六〇〇發	補發受
八一	二十五耗散銃彈	六〇〇發	三〇〇發	補發受
八一	二十五耗散銃彈	六〇〇發	六〇〇發	補發受
八一	二十五耗散銃彈	六〇〇發	六〇〇發	補發受
八一	二十五耗散銃彈	六〇〇發	六〇〇發	補發受

六兵尾の消耗及補給

0624

百七	二十五耗散銃彈	十月十日 六四二〇	六〇〇發	海軍二技庫
----	---------	-----------	------	-------

0623

二機関

飛 不 流	八 二	八 二	四 九 九
後 傾 部 位	推 力 軸 受	排 氣 管	潤滑油の 排 水 管 直 水 管 「ハ」此表直 「カ」此表直
情 況	燒 損	十月十日、於此機修繕中、 爆彈片、依り破損	十月十日、於此機修繕中、 爆風及爆彈片、 破損
処 置	昭和十九年十月十日修理完了 未着手 昭和十九年十月十日修理完了 昭和十九年十月十日修理完了	昭和十九年十月十日修理完了	昭和十九年十月十日修理完了
100%	100%	100%	100%

八〇九	「カニ」正に端板取付 非力軸受 送料別	折頂 十月十日、破損を認む 修理	昭和十九年十月十日修理完了 半日 未だ着手	100%
八〇八	潤滑油 非力軸受 送料別	折頂 十月十日、破損を認む 修理	昭和十九年十月十日修理完了 半日 未だ着手	100%

八〇一	八〇九 端板 「カニ」正に端板取付 非力軸受 送料別	折頂、カニ正に端板取付 破損を認む	四名	五〇	運天
八〇二	非力軸受 送料別	破損を認む	四名	一〇	運天
八〇三	潤滑油 非力軸受 送料別	破損を認む	二名	一〇	運天 淡内工作
八〇四	潤滑油 非力軸受 送料別	破損を認む	二名	一〇	運天 淡内工作

一〇一〇	八一號艇 排氣管	戰鬥、漆、破損等 ト認ム	二名	六〇	運天 隊内工作
一〇一〇	八一號艇 排氣管	水、漆、破損等 付落、漆、破損等 ト認ム	三名	一〇	運天 隊内工作
一〇一〇	八一號艇 潤滑油冷却器	破損等ト認ム	二名	一〇	運天 隊内工作
一〇一〇	八一號艇 トランス把手 傳導齒車	破損等ト認ム			運天 隊内工作

六、醫務衛生

五、出征中、事項

五、醫務科治療施設新設改造、概要

十月十日敵機空襲、經驗=鑑、約二十五名收容可能、防空壕(戰鬥中傷者收容兼治療所)、坂壁完成、且亦治療品格納、夕、防空壕三個坂壁完成、十一月下旬ニ治療品格納可能ナリ、ソレト同時ニ應急治療所、作製中ニシテ面積約十坪、獨立小屋ナリ

六、出征中、衛生狀況

受療患者數八〇六名

戰傷患者	一五名	外科	痧病	四名	戰	死	九名
病	九名	消化器病	痧病	六名	未診	定	二〇名
外傷	一三名	呼吸器病	痧病	七名			

第三 戦闘開始の事項

一 治療所員及應急員の関する事項

配	正副医科長	下士官	兵	計
天	衣	一	三	五
運	天	一	三	四

天倉ニ於テハ艦隊ニ連天ニ於テハ基地隊ニ備ヘタリ

二 戰鬥ノ概況並ニ傷者發生ノ概況

○三二五機ニ由リ「F」型艦爆四機ヲ襲セ、依テ直ニ戰鬥配備

ニ就ケリ時ニ連天港ニ甲標的並ニ用船場ヲ襲シ、九六五十一北新丸停

泊ニオハラ認メタル敵機ハ、之ニ攻撃ヲ加ヘ

見亦艦隊ヲ投下ニ甲標的ハ沈没第五十一北新丸ハ被弾火災ヲ

惹起シ、並ニ兵商沈没セザルニヨリ敵機ハ、北新丸ノ被弾火災ヲ

ヲ加ヘタリ。九〇第五十一北新丸ハ沈没シ、八〇八敵機南方ニ撃退セ

ルモ更ニ港外停泊中ノ陸軍高速輸送艇ニ銃爆雲ヲ開始セリ

。八三三敵機四十機未襲而ニテ尚概襲セル莫ク、

敵機ハ〇八〇〇魚雷艇ニ対シ銃爆撃ヲ加ヘ焼失彈ヲ投擲攻撃ラセ

タリ依テ艇ハ之ニ砲撃ヲ開始セリ。一〇〇魚雷艇整場ヲ銃撃セシ

間モテク北東ニ撃退セリ。一三〇敵機北東ニ撃退セリ。一三

以テ我々銃爆撃ヲ加ヘタリ。一三〇敵機北東ニ撃退セリ。一三

五敵機約七十機未襲対空砲火弱勢トナリタリ。銃爆撃最

モ熾烈ナリ。一四三三敵機北東ニ逃走シタリ。四四機空襲

ヲ生セル傷者ハ何レモ直接應戰セシ戰鬥員アリ。依テ之ガ運搬ハ

戰鬥力消失セル者ニ依テナクシテ應急治療ヲ施シ安全ナル個所

ヘ搬ヘリ

四 傷病者治療並ニ治療品關する事項

傷者ハ何レモ機銃彈爆彈彈片ニシテ治療トシテハ一度フオルガ

一、止血用、止血繃帯、止血剤注射、阿片カモイド注射液注射、カン
フル注射、葡萄糖注射、行と尚出血止マラザル者、対応シテハ止血帯
装用、止血剤注射、行へ、一般止血ハ完全ナリタルハ好結果ナラズ
治療品、アクリル、此肝油、天度、カール、金、カ、セ、フ、セ、リ、葡萄糖
注射液、止血剤、鎮痛鎮静剤、ガ、ラ、ル、注射液、ズ、ラ、ア、ミン、製剤
木綿繃帯、應急材、包、一、号繃帯、止血、止血、官、ハ、必要、ス、ム、カ、ラ、ア、
ル、モノ、ナ、リ

第四、医務衛生上、特ニ、経験、甚、事項、意見、並ニ、戦訓、關ス、ル、事項

四、治療品ニ関スル事項

一、号繃帯包、應急、対応、包、不、綿繃帯、カ、セ、止血、帯、葡萄糖、カ、ラ、
ム、ア、クリ、ル、カ、ラ、ア、ミン、カ、ラ、ア、ミン、カ、ラ、ア、ミン、カ、ラ、ア、ミン、カ、ラ、
葡萄糖、注射液、カ、ラ、ル、注射液、止血剤、カ、ラ、ル、注射液、ズ、ラ、ア、ミン、
鎮静剤、火傷膏、以上、常時、戦時、治療所、ニ、準備、ス、ル、モノ、ナ、リ

依テ、充分、ナル、供給、ヲ、希望、ス、尚、医務科、員、ト、シ、テ、各自、救急、心、志、高、ク、
携帶、セ、シ、タ、リ、之、ハ、充分、ナル、好結果、ヲ、得、タ、リ、即チ、一、号繃帯、
繃帯、カ、セ、止血、帯、天度、カ、ラ、ル、注射液、注射、筒、及、針
此、基準、ヲ、若干、宛、携帶、セ、ル、應、急、心、志、充分、問、合、ヘ、リ

七 會計整理

小摘要

會計整理之內容及報告之入項

年	月	日	摘要	金額	幣別
1942	11	1	本月度結算		美金
1942	11	1	本月度結算		美金
1942	11	1	本月度結算		美金

會計整理之內容

項目	金額	幣別
本月度結算		美金
本月度結算		美金
本月度結算		美金

會計整理之內容及報告之入項
 1942年11月1日
 會計整理之內容及報告之入項
 1942年11月1日
 會計整理之內容及報告之入項
 1942年11月1日

(4) 航海船津
 被服糧食 零品
 二週分額不用分支給

(1) 被服
 依世原海軍省部より所着衣袴作業衣袴 防露靴中 手袋衣
 護護服 耐足袋等 約 五週支給

(2) 糧食

品名	数量	受給	元	記事
生糧品	一三二五...	依世原海軍省部		特殊糧食
生糧品	...	沖繩縣國頭郡本庄村本庄會堂		特別食糧

(3) 雜品
 依世原海軍省部より用紙類等約一週支給

四 戰 論 品

十、十一、十二月分法世保海軍軍勢部受送三書入合

參 考

特 三 二 一

海軍功績欄に都て

手名帳に三〇号

軍秘

自昭和二十年一月一日
至昭和三十年一月三十一日

十二月三日送付

10



0630

第二十七魚雷艇隊戦時日誌

第二十七魚雷艇隊

- 一 作戰經過概要
- 二 人員現狀
- 三 令達報告等
- 四 參考
- 五 船体兵器機關
- 六 醫務衛生
- 七 會計經理

目次

(目次終)

一 作戰經過概要

三	二	一	日 所 在
北 一四〇 二	北 一五三 三	北 一四〇 二	氣象 六午 晴前 正 六午 晴後
北 一八〇 四	北 一六〇 二	北 一六〇 二	天 風向 風速 候
北 一六〇 四	北 一五二 二	北 一六〇 二	一 般 任 務 任 務 別
鎮		佐	經 過 摘 要 記 事
<small>○七〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九五 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九五 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九五 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九五 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九〇 隊列哨兵等三隊哨別注</small>		<small>○七〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九〇 隊列哨兵等三隊哨別注 ○九五 隊列哨兵等三隊哨別注</small>	

昭和二十年一月 某部之戰報無誤

九 八 七

北東三 一八〇	北 一六〇	北 一五〇
北五 一七〇	南 一九〇	北一 一六五
北五 一六〇	南 二〇〇	北一 一六〇

面 方 橋

<p>〇七〇 隊内哨戒第一配備別法 〇九〇 隊内哨戒第二配備別法 一二〇 隊内哨戒第三配備別法 合戦準備 午前 隊内哨戒準備 午後 隊内哨戒準備 〇七〇 隊内哨戒第一配備別法 〇九〇 隊内哨戒第二配備別法 一二〇 隊内哨戒第三配備別法 合戦準備 午前 隊内哨戒準備 午後 隊内哨戒準備</p>	<p>〇七〇 隊内哨戒第一配備別法 〇九〇 隊内哨戒第二配備別法 一二〇 隊内哨戒第三配備別法 合戦準備 午前 隊内哨戒準備 午後 隊内哨戒準備</p>
--	--

六 五 四

北七 一五〇	北七 一五〇	北二 一五〇
北七 一八〇	北七 一八〇	北三 一七〇
北四 一七〇	北四 一七〇	北四 一六〇

沖 隊 部

<p>〇七〇 隊内哨戒第一配備別法 〇九〇 隊内哨戒第二配備別法 一二〇 隊内哨戒第三配備別法 合戦準備 午前 隊内哨戒準備 午後 隊内哨戒準備</p>	<p>〇七〇 隊内哨戒第一配備別法 〇九〇 隊内哨戒第二配備別法 一二〇 隊内哨戒第三配備別法 合戦準備 午前 隊内哨戒準備 午後 隊内哨戒準備</p>
--	--

十七	十六	十五	十四
----	----	----	----

天

一北 二五 七曇	一北 二九 五曇	一北 四六 五曇	一北 四一 五雨
一北 四二 五曇	一北 三六 五曇	一北 四一 五曇	一北 三五 五曇
一北 一七 五曇	一北 一五 六曇	一北 一五 五曇	一北 一四 五曇

備

防

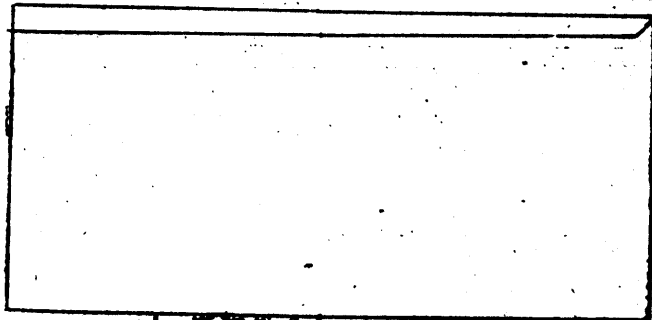
午前午後共按學作業
 〇七。陸內明或第二與備別法
 〇九。陸內明或第二配備

十	十一	十二	十三
---	----	----	----

一北 一〇 二曇	一北 一五 一曇	一北 一〇 二晴	一北 一〇 七曇
一北 四一 五曇	一北 三〇 四曇	一北 二七 五曇	一北 四〇 五晴
一北 三〇 二曇	一北 七〇 二曇	一北 二〇 四曇	一北 一〇 五晴

敵

部



更當檢回
 散賣每
 卷前出

十八	十九	二十	二十一
----	----	----	-----

港

北 曇 一三〇	北 曇 一四〇	北 曇 一三〇	北 曇 一三〇
北 晴 一六〇	北 曇 一六五	北 曇 一五〇	北 曇 一五〇
北 晴 一四〇	北 曇 一四五	北 曇 一五〇	北 曇 一五〇

隊

部

一〇七〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇八〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇九〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇一〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇二〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇三〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇四〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇五〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇六〇。隊内哨戒第三配備別法。

二十二	二十三	二十四
-----	-----	-----

北 曇 一三〇	北 曇 一五〇	北 曇 一五〇
北 雨 一四〇	北 曇 一六〇	北 曇 一七〇
北 曇 一四〇	北 曇 一五五	北 曇 一六〇

襲

奇

一〇七〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇八〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇九〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇一〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇二〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇三〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇四〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇五〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇六〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇七〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇八〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇九〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇一〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇二〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇三〇。隊内哨戒第三配備別法。
 一〇四〇。隊内哨戒第一配備別法。
 一〇五〇。隊内哨戒第二配備別法。
 一〇六〇。隊内哨戒第三配備別法。

三十一	三十	二十九
-----	----	-----

一八〇 一 南西三 半晴	一八〇 一 南四七 半晴	一四〇 一 北三 曇
一九〇 四〇 南西一 晴	一八〇 四〇 北五七 曇	一六〇 四〇 北三 曇
一八〇 一〇 南西三 半晴	一八〇 一〇 北五 曇	一五〇 一〇 北四 曇

九日
井上
故大
傷死
不
機酒
駭

二十六	二十五
-----	-----

一三〇 一〇 北三 曇	一三〇 一〇 北三 曇	一四〇 一〇 北一 曇	一四〇 一〇 北一 曇
一四〇 二五 北三 曇	一四〇 二五 北六 曇	一五〇 四〇 北一 曇	一六〇 四〇 北一 曇
一四〇 一〇 北三 曇	一四〇 七〇 北六 曇	一四〇 一〇 北一 曇	一五〇 七〇 北一 曇

隊 部

午前午後共被警作業
 〇六二〇隊内哨兵等配備
 〇九〇隊内哨兵等配備

二人員ノ現狀		區分	職	主務	官	氏名	記事
同	同	同	同	同	同	桑原桂一	新地香春中
同	同	同	同	同	同	武下	
同	同	同	同	同	同	中原正	
同	同	同	同	同	同	近藤重和	
同	同	同	同	同	同	市毛芳乃	
同	同	同	同	同	同	中平晴敏	
同	同	同	同	同	同	高山重喜	
同	同	同	同	同	同	柳澤元俊	
同	同	同	同	同	同	伊藤辰英	
同	同	同	同	同	同	白石信治	
同	同	同	同	同	同	大尉	
同	同	同	同	同	同	中尉	
同	同	同	同	同	同	少尉	
同	同	同	同	同	同	第一隊長兼司令附	
同	同	同	同	同	同	第二隊長	
同	同	同	同	同	同	第三隊長	
同	同	同	同	同	同	第四隊長	
同	同	同	同	同	同	第五隊長	
同	同	同	同	同	同	第六隊長	
同	同	同	同	同	同	第七隊長	
同	同	同	同	同	同	第八隊長	
同	同	同	同	同	同	第九隊長	
同	同	同	同	同	同	第十隊長	
同	同	同	同	同	同	第十一隊長	
同	同	同	同	同	同	第十二隊長	
同	同	同	同	同	同	第十三隊長	
同	同	同	同	同	同	第十四隊長	
同	同	同	同	同	同	第十五隊長	
同	同	同	同	同	同	第十六隊長	
同	同	同	同	同	同	第十七隊長	
同	同	同	同	同	同	第十八隊長	
同	同	同	同	同	同	第十九隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十一隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十二隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十三隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十四隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十五隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十六隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十七隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十八隊長	
同	同	同	同	同	同	第二十九隊長	
同	同	同	同	同	同	第三十隊長	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊	同	同
八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八二號艇長	八四一號艇長	八四一號艇長
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
川村登	吉里積	門内佐七郎	上杉利定	森本兵市	六車勝一	下西傳	佐藤力人	曾川美夫	野口元平	福山	平山實	大見進

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊
八二號艇長	八二號艇長	通信士	艇隊長附	副長附	同	同	艇隊長附	砲術士	司令附	司令附	司令附	司令附	司令附
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
森正直	檜垣源一	中島貞	宮崎美代吉	金澤定七	渡邊謹次郎	松村辰夫	津田富雄	中川宗四郎	山本忠治	前川勤	小溪宜正	小田敏	

計	主計隊	醫務隊	基地隊	第四艦隊	第三艦隊	第二艦隊	第一艦隊	區分	兵科	機關科	工作科	看護科	主計科	其他	合計
									一五〇	一三八	七	九	三三	三二七	
			四五	二五	二三	二七	三〇		二九	二五					五九
			三九	二二	二三	二五	二九				七	九			九一
															四七
															四六
															五二
															三二七

(二) 下士官兵及其他員數

主計隊	醫務隊	基地隊										同
		軍醫長	同	同	同	同	同	同	隊附	隊附兼分隊長	機隊長兼分隊長	
主計隊長	醫務隊長	掌內務長	掌機長	掌水雷長	機隊長附兼基地隊	同	第二分隊士	掌水雷長	西表基地隊長	基地隊長	艇長	
主計大尉	醫中尉	同	機曹長	同	同	同	同	少尉	同	大尉	同	
住田克男	沼尻久喜	石井石造	平良盛雄	古賀正三	風間健一	小島操	上原裕幸	松永又次	大碓克一	山西善右衛門	牛浜正直	

三令達報告等

發 日 時
受 日 時
(免通報)

三十一日 一五二四
柳澤中尉 第三十七魚雷艇
隊司令

令 達 報 告 等

佐通機密第三二五二四番電
一 增強隊九隻、中六隻、八三六、八四一、八五二、
八五三、八五三、八五四、豫定
尚將來增強セラルル等
二 略
三 一六號艇ハ炭酸ガシ消火器積換及
探信儀裝備豫定ニテ横須賀出
港ハ二十年早々豫定
指揮官市毛中尉
四 八四五號艇完成ニ隻八目下長崎

別 種

電

三日 〇九三〇 沖繩方面根拠 地隊司令官	三日 〇九三七 佐鎮敵情着信 艦所	沖根機密第。三。九三〇番電 南西諸島海面空襲警報發令
三日 一〇五五 沖繩方面根拠 地隊司令官	三日 一一〇五 佐鎮敵情着信 艦所	沖根機密第。三。〇五五番電 南西諸島海面空襲警報解除
三日 一一〇〇 沖繩方面根拠 地隊司令官	三日 一一一五 沖繩方面根拠地 隊	沖根機密第。三。一一〇番電 第二警戒配備別法トナセ
第四海上護衛隊	第四海上護衛隊	

二于整備中
五略
六略

三日 二二六六 佐海保鎮守府 司令長官	四日 〇一一〇 佐鎮部隊	沖根機密第。三。二四六番電 本日台灣及南西諸島ニ來襲セル 敵機動部隊ハ其ノ動靜未詳ニシテ 引續キ來襲ノ算アルト共ニ通信謀 報ニ依リテ敵部及「マリアナ」方面ニ ニ九明早朝出撃ノ算大ナリ 九州及南西諸島方面嚴重ナル 警戒ヲ要ス
二日 一六二二 沖繩方面部隊 指揮官	三日 一七〇三 沖繩方面根拠地隊 第四海上護衛隊	沖根機密第。三。一六二番電 信電今作第五號 信電今作第二號、警戒配備トナセ

四日 一〇〇六 沖繩方面根據地 地隊司令官	四日 一〇〇八 佐領敵情着 信艦所	沖根機密第。四一〇。六番電 南西諸島海面空襲警報發令
四日 一二四七 沖繩方面根據地 隊司令官	四日 一二四九 佐領敵情着 信艦所	沖根機密第。四二四七番電 南西諸島海面空襲警報解除
四日 一六二三 沖繩方面部隊 指揮官	四日 一七三〇 沖繩方面根據地隊 第四海上護衛隊	沖根機密第。四一六二三番電 信電令作第六號
四日 一一五三 海上護衛司令 長官	五日 一二三三 海上護衛總隊	海護機密第。四二五三番電 敵機動部隊四日。一〇。N二度E三四度 及N二度E三四度。電波探知ス 今朝米台灣及沖繩方面敵機來襲了

五日 〇八三三 沖繩方面部隊 指揮官	五日 一〇〇〇 沖繩方面根據地隊 第四海上護衛隊	沖根機密第。五〇八三六番電 信電令作第七號 引續。第二警式配備別法トナセ
五日 一四二〇 沖繩方面部隊 指揮官	五日 一四二六 沖繩方面根據地隊 第四海上護衛隊	沖根機密第。五一四二〇番電 信電令作第八號 信電令作第二號。警式配備トナセ
五日 一六二〇 沖繩方面根據地 地隊司令官	五日 一六三〇 第二十七點雷艇 隊	沖根機密第。五一六二〇番電 第二警式配備トナセ

五日 一六二〇 沖繩方面根據地 地隊司令官	五日 一六三三 第七魚雷艇隊	沖根機密第。五一六三。番電 第一警戒配備ト十七
五日 一七一〇 沖繩方面根據地 地隊司令官	五日 一七二〇 第七魚雷艇隊 第一基地	沖根機密第。五一七一。番電 信電令作第二號、警戒配備ト十七
七日 一二二一 沖繩方面根據地 地隊司令官	七日 一二四〇 第七魚雷艇隊 第一基地	沖根機密第。七一三一。番電 第一警戒配備(別込)ト十七
七日 一三〇二 沖繩方面根據地 地隊司令官	七日 一三四〇 第七魚雷艇隊 第一基地	沖根機密第。七一三〇。二番電 信電令作第九號 信電令作第二號、警戒配備 ト十七

七日 二三二四 柳澤中尉	八日 一一一六 第七魚雷艇 隊司令	佐通機密第。七二三。四番電 一四型六隻分、回航員派遣ナシ度 回航方法ハ全部自力、豫定 二略 三略
九日 〇八五〇 沖繩方面根據地 隊司令官	九日 〇九〇八 第七魚雷艇隊 第一基地	沖根機密第。九〇八五。番電 第一警戒配備ト十七
九日 一一一〇 沖繩方面根據地 地隊司令官	九日 一九〇八 第七魚雷艇隊 第一基地	沖根機密第。九一三三。番電 信電令作第二號、警戒配備ト十七

<p>十日。二。四 海軍大臣</p>	<p>十日。一七三〇 佐吉保鎮守府司令長官 (洋三七魚雷艇隊司令)</p>	<p>東通機密第一。二。四番電 十日附第八八第八四一第八四四乃至第八四八第八五一乃至第八五三號魚雷艇ヲ第三十七魚雷艇隊ニ附屬セシメ第八三四號魚雷艇ヲ同隊ニ附屬セシメタル處之レヲ解ク</p>	<p>ノ</p>
<p>十一日。一三二七 柳澤中尉</p>	<p>十一日。八四五 第三十七魚雷艇隊司令</p>	<p>佐通機密第二。二。七番電 一四型八九隻トモ今月中ニ完成ノ見立</p>	<p>ノ</p>

<p>三十一日。一。二五 沖繩方面根拠地隊司令官</p>	<p>三十一日。一。一五〇 第三十七魚雷艇隊第一基地 甲標的隊</p>	<p>沖根機密第三。二。一。五番電 敵大編隊二四。度一。五料ニ近ヅク空襲警報</p>	<p>ノ</p>
<p>三十一日。一。二三八 沖繩方面根拠地隊司令官</p>	<p>三十一日。一。二五六 第三十七魚雷艇隊第一基地 甲標的隊</p>	<p>沖根機密第二。二。三。八番電 空襲警報解除 第二警戒配備トナセ</p>	<p>ノ</p>
<p>三十一日。一。五五五 沖繩方面根拠地隊司令官</p>	<p>三十一日。一。七〇九 第三十七魚雷艇隊第一基地 甲標的隊</p>	<p>沖根機密第二。二。五。五番電 信電令作第二號ノ警戒配備トナセ</p>	<p>ノ</p>
<p>三十一日。九五九 沖繩方面根拠地隊</p>	<p>三十一日。二。二〇 沖繩方面根拠地隊</p>	<p>沖根機密第二。九。五。九番電 沖根信電令作第一號</p>	<p>ノ</p>

地隊司令官

敵情詳ナラザルモ敵ハ當方面ニ對
 ミ奇襲上陸企圖アルノ虞アリト
 セズ左ニ依リ警戒スベシ
 一 對空對水上見張ヲ嚴ニスベシ持
 ニ排曉薄暮トナル前後ニ注意
 ラ西文ス
 二 射撃ヲ裝備茲ニ強化ヲ成ルベク
 速ニ完了スルト共ニ防禦陣地
 茲ニ施設ヲ促進スベシ

二十日。六二五 沖繩方面根據地 隊司令官	二十日。七〇七 第三魚雷艇隊 甲標的隊	二十日。六四二 沖繩方面根據地 隊司令官	二十日。七五〇 第三魚雷艇隊 第一基地	二十日。一〇二五 第三魚雷艇 隊司令官	二十日。一八二二 佐世保鎮守府 司令官 沖繩方面根據地 隊司令官	二十日。一七三〇
沖根機密第三。六二五番電 第一警戒配備別法トナセ	沖根機密第二。六四二番電 沖繩島空襲警報發令	機密第二。七五〇番電 敵艦載機八機見エ 運天上空旋回後東ニ向フ	機密第二。一〇二五番電 〇七二〇ヨリ〇〇ニ至ル間延一六。機 運天附近上空ヲ通過セルモ發見ナ レルニユエラス	機密第二。一七三〇番電		

<p>第二十七魚雷艇隊司令</p> <p>二十一日 二〇二。</p> <p>沖繩方面根據地隊司令官</p>	<p>佐世保鎮守府司令長官</p> <p>沖繩方面根據地隊司令官</p>	<p>一〇〇〇以後一七〇〇ニ至ル間延二三〇機運天上空ヲ旋回セルモ異狀ナシ</p>
<p>二十一日 二〇二。</p> <p>沖繩方面根據地隊司令官</p>	<p>二十一日 二〇二。</p> <p>佐世保敵情着信艦所</p>	<p>沖根機密第二三二〇番電</p> <p>沖繩島空襲警報解除</p>
<p>二十二日 二〇三四</p> <p>沖繩方面根據地隊司令官</p>	<p>二十一日 二二二五</p> <p>第一基地甲標的隊</p>	<p>沖根機密第二三二〇三四番電</p> <p>第二警戒配備トナセ(燈下管制ヲ嚴ニナセ)明朝〇六三〇以後第二警戒配備トナセ</p>
<p>二十三日 〇九二五</p> <p>沖繩方面部隊</p>	<p>二十三日 二二四五</p> <p>第四海上護衛隊</p>	<p>沖根機密第二三〇九二五番電</p> <p>信電令作第十號</p>

<p>指揮官</p> <p>二十七日 二三四五</p> <p>沖繩方面根據地隊司令官</p>	<p>沖繩方面部隊</p> <p>二十八日 一五〇。</p> <p>第四海上護衛隊</p> <p>沖繩方面根據地隊</p>	<p>沖繩島第二警戒配備トナセ但シ〇六三〇ヨリ〇九〇迄第二警配備別法トナセ</p> <p>沖根機密第二三三四五番電</p> <p>佐鎮機密第二三三九番電</p> <p>作成替佐鎮電令作第二號</p> <p>一諸般ノ情況ヨリ判断スニ南九州及南西諸島方面ヨリ數日敵機動部隊來襲ニ對シ警戒ヲ要ス</p> <p>二南九州及南西諸島方面部隊ハ指揮官決定ニ依リ警戒ヲ嚴ニセヨ</p>
<p>二十八日 一九一七</p> <p>第二十二魚雷艇隊</p>	<p>二十八日 二二五〇</p> <p>第二十七魚雷艇隊</p>	<p>佐鎮機密第二三三九番電</p> <p>八四四八四九八四六號艇自力</p>

大見兵曹長	司令	回航ヲ取止メ第三郵船丸第一突山丸第三七興隆丸曳航三人トテ運天ニ向ケ佐世保發
三十一日 一五一一 大見兵曹長	三十一日 一七五〇 第三七魚雷艇隊司令	佐浦機密第三二五二番電 一魚雷艇二隻(八四一八五二號第六德豐丸第四辰鷹丸曳航)五日〇九〇〇時ニ基地ニ向ケ佐世保發 二八五二號機密石澤丸曳航二月三日 左ノ候發進出ノ預定 三略

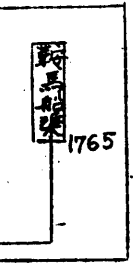
四參考

基地設營概要

一月中心完成セル基地施設ハ工作料作業場魚雷格納庫ニ總計四魚雷格納能力八四本(燃料庫五)總計一四燃料格納能力ニ入。傾(ナリ)工作料作業場ハ十一月二十五日より整地並ニ爆風除ケ構築ニ掛リ本月二十日床コシクリ一ト打テ残シ完成ス主機械調整場ニ隣接シテ設置シ面積約四〇平方米ニシテ二平方米ノ事務室ヲ設ケテ屋根ハ亜鉛鍍板ニテ葺ク圍壁ハ事務室ヲ除キ高さ一米ノ羽目板ヲ以テ圍リ作業場ニ連接シ基部ノ巾ニ米六高ヲ二米ニ爆風除ケ設ケ整地並ニ爆風除ケ設置シ作業場完成迄所要日數三十日所要延人員四二。人此内六割ハ整地並ニ爆風除ケ設置ニ要スリ
魚雷格納庫ニ燃料庫五ハ設營隊ノ手ニ依リ完成セリ魚雷格納庫ノ大ハ二五米×五米×一。米(魚雷三五本格納可能)及ビ二米×四五米×一。米(魚

電話

(特ハシ
敷ハシ)



見張所
802

1574

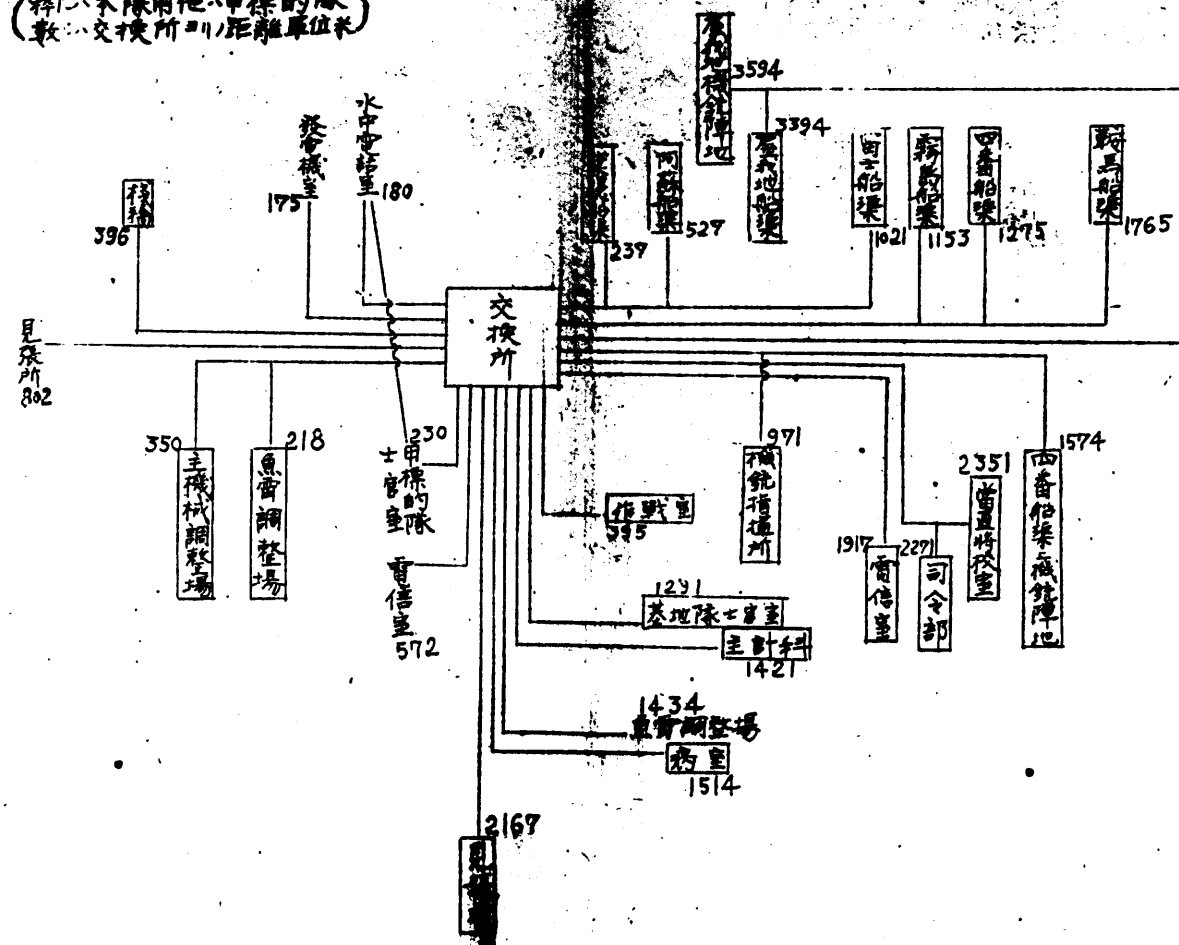
7p

雷(七水格納可能)ニシテ燃料車(二米×二米×八米)ドシテ鐘七。本格納可能。
 三(二二米×二米×二米)ドシテ鐘一。本格納可能(モ、三ナリ。
 當隊並ニ甲標的隊内各部連絡、為通信院防衛通信施設部、手ナリ。
 一月五日ヨリ電話架設ニ着手、一月十五日完成シ、隊内通信連絡、迅速。
 容カテラシムルヲ得ナリ。

電話交換室ハ等ニ。壕(貫通隧道)中ニ設ケニ。回線用小型交換機ヲ設置。
 交換機經由回線敷ハ二九回線ニシテ他ニ直通線一回線ヲ設ケ、
 電話架設箇所ハ當隊ニ箇所甲標的隊六箇所ナリ。

電話回線圖

(持以本隊用他中隊的隊)
(數以交換所叫距離單位米)



五船兵器機關

(一) 船体 損傷

艇番號	損傷部位	情	況	原因	修理
497	機機室前部右舷船底 後部燃料タンク室後部 船底	破孔(三種)	一部損傷	久米島砲撃 船中座標	第三船中 修理
826	艦橋窓	全壊		昭和十三年十月 對空砲撃	未修理
(四) 改造修理新設					
艇番號	工事内容	着手年月日	竣工年月日	要	由
821	燃料タンク後部右舷一個取換 燃料タンク取換	二〇.一.二六	二〇.一.二六	燃料	燃料
809	後部燃料タンク二個取換	二〇.一.二六	二〇.一.二六	燃料	燃料

826816	815	499
機油室に後部燃料を至船底	機油室に(二個)取換	後部燃料を(二個)取換
一〇・一一八	二〇・一一五	一〇・一一七
二〇・二三三	二〇・一一五	二〇・一一八
中大島海軍工廠	機油	右側

0672

兵器

主要兵器故障致損亡失

499	機油室に後部燃料を至船底	機油室に(二個)取換	後部燃料を(二個)取換
移動特用無線電信機一	感度不良	一九〇・二〇	二〇・二三三
		因機銃彈真通	修理中

三機関

主要機関整備

月日	項目	作業時、状態	作業員	作業時数	作業地
一四	八六號機 中央三番シリンダー 排出弁	一個頭部より二花 一個二三花、失火 焼損切斷セルヲ認ム			
	同右 給入弁	燒損セルヲ認ム			
	同右 弁室内	燒損セルヲ認ム			
	同右 「ロストン」	燒損セルヲ認ム			
			七名	九〇〇	運送基地

0673

同右 コト下シリンジ並ニ 油式リソソク	同右 コト下シリンジ並ニ
同右 入	内面無数枚被並 乱中跡ヲ認ム
同右 排出弁又ハ 同右	着シ痰カ減退セリ 認ム
同右 勃	調整バルト固足用 ルト、バルトノ折損セリ 認ム

(四) 工作
特ニナシ

六 醫務衛生

第二 出征中ノ事項

四 出征中ニ於ケル治療品被服糧食其他衛生ニ關係アル物品ニ關スル
事項並ニ搭載補給ノ概要

本月中治療品 受込ナシ

六 出征中ノ衛生情況

受療患者數 一五二四名

戰傷患者 傳染病流行病 及地方病	二名 血液内分液新 陳代謝病	一名 外被之病	二名
精神神経系病	四名 泌尿生殖器病	一名 運動器病	二名
呼吸器病	一名 性病	四名 外傷傳染病	一名
消化器病	七名 眼病 耳鼻咽喉病	二名 創傷傳染病	五名
	一名 耳鼻咽喉病	四名 末診定	二名

第四 医務衛生上特ニ經驗セル事項意見並ニ戰訓ニ關スル事項

待

七會計經理

(1)摘要

(2)經費出納、現狀

前月	本月	本月	本月
越前	受高	支拂高	残高
五八九六三九	五〇〇〇〇〇	二四七二六〇九	八四二二二〇九

俸給

増俸

航海加俸

被服糧食用品

被服

還納受込共ニナリ

本月分支給

理事官以上四割
下官共五割
願本月分支給

(2) 糧食

種別	數量	受	送	元	記事
貯糧品	六四三四				
生糧品	六四三四				

(3) 需品
 (4) 戰給品
 二月ニ併給豫定
 佐世保海軍軍需部
 中津島海軍軍需部
 今路海軍軍需部
 他還納受込ナシ

(4) 参考
 待ニテシ